

平成30年度島根中央子牛共進会の結果

10月31日、松江市宍道町の島根中央家畜市場で、平成30年度島根中央子牛共進会が開催されました。

今回の共進会では、生後4～12カ月の子牛を対象として、県内東部の市町から選抜された39頭が出品され、発育、栄養度などについて審査が行われました。

本町を代表して、第1区に6頭、第2区に4頭が出品され、第1区で部田泰久さん（八川）の出品牛「あいか」号が首席に選ばれました。

また、他の出品牛も多く上位入賞を果たし、和牛飼育技術のレベルの高さを見せ、奥出雲町の名声を高めました。

これからも地域をあげて優良牛の飼養頭数の確保に取り組みます。

主な成績

出品区	成績(序列)	名号	出品者	地区
第1区	優秀賞 首席	あいか	部田 泰久	八川
	〃 3席	ゆい2	岸本 光吉	三成
	〃 4席	さちゆりひさ	佐藤 治巳	亀嵩
第2区	優秀賞 次席	みつはな4	藤原 トミ子	横田
	〃 3席	はつゆりみつ	佐藤 安則	亀嵩
	〃 5席	みつゆり	部田 房子	八川



▲第1区優秀賞首席の「あいか」号

国民健康保険中央会表彰 土屋武雄さん(亀嵩)が受賞



▲土屋さん(右)と勝田町長

土屋さんは、奥出雲町国民健康保険運営協議会委員として平成17年から27年まで副会長、同年から29年まで会長を務められ、12年の多年にわたり、国民健康保険事業の運営にご尽力されてきました。

この功績により、国民健康保険中央会表彰を受けられました。受賞おめでとうございます。

平成30年度島根県種畜共進会の結果

10月20日、松江市宍道町の島根中央家畜市場で、平成30年度島根県種畜共進会が開催されました。

県内の市町村から選抜された肉用種牛46頭、乳用種牛32頭が出品され、発育、栄養度などについて審査が行われました。

本町からは、肉用種牛の部に9頭、乳用種牛の部に7頭が出品され、金倉弘美さん(阿井)の出品牛「さくみくに」号が肉用種牛の部第3区若雌牛で首席に選ばれました。また、他の出品牛も多く上位入賞を果たし、奥出雲町の名声を高めました。

これからも地域をあげて優良牛の飼養頭数の確保に取り組みます。

主な成績

出品区	成績(序列)	名号	出品者	地区	
					出品者
肉用種牛の部	第3区 若雌牛	優秀賞 首席	さくみくに	金倉弘美	阿井
		〃 4席	ゆりやはた3	杠 優	横田
		〃 7席	もりひめ	原田敦子	馬木
		〃 8席	ゆりたか	勝田律江	阿井
		〃 9席	かつざくら	佐藤治巳	亀嵩
	第4区 成雌牛	優秀賞 4席	ふくてる	新宮 茂	八川
		〃 6席	ひろひさかつ2	奥出雲町農業公社	
	第5区 母系牛群	優秀賞 次席	かねふく	野沢逸男	八川
			ゆずは		
牛乳用部種	第3区 未経産牛C	優秀賞 次席	コグリスネツカスガ	高橋 護	鳥上
	第4区 未経産牛D	優秀賞 3席	ヒメアホカヅルヒト	大石巨太	亀嵩



▲第3区優秀賞首席の「さくみくに」号

第102回仁多郡陸上競技大会

仁多郡陸上競技大会が10月7日、三成公園陸上競技場で開催されました。

全61種目が行われ、小学生から一般の選手までが日頃の成果を競い合い、好レースが展開されました。今大会では、3つの大会新記録が誕生しました。



▲100M走のスタート

大会新記録

中学1年男子100m	12秒18	藤原琉成(仁多中)
一般男子30才未満100m	11秒18	石原秀真(八川)
一般男子400m	50秒21	石原秀真(八川)

奥出雲病院の友塚義人医師 産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞



▲表彰状を受け取る友塚医師(右)

永年にわたり地域のお産を支え産科医療の推進に貢献されてきた功績が認められ、奥出雲病院の友塚義人医師が産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。

10月15日、奥出雲病院で伝達式が行われ、島根県健康福祉部の吉川敏彦部長から表彰状などが手渡されました。友塚医師は「余力がある限り、産科医療に携わっていきたい。周囲の方々に恵まれ、この表彰につながった」と話されました。

友塚医師がこれまでに取り上げた新生児は3,000人を超え、現在も年間90件のお産に対応されています。分娩や子宮がん検診以外に、マタニティ教室や新生児訪問制度などを立ち上げるなど、地域の産科医療に大きく貢献されてきました。

受賞おめでとうございます。

子ども版きこりプロジェクト 仁多中学校生徒がきこり体験



▲玉切り体験

奥出雲町深山のきこりプロジェクト実行委員会が、島根県の「みーもの森づくり事業」を活用し林業体験を通して山林整備の大切さを子どもたちに伝えようと、仁多中学校1年生を対象に「子ども版きこりプロジェクト」を10月17日に実施しました。

生徒たちは山林整備の必要性について講義を聞いた後、三成地内の山林に移動し、のこぎりを使った玉切りやPCウインチでの集材作業などを行いました。慣れない作業に悪戦苦闘しながらも真剣に取り組んでいました。

雲南地域高齢者見守りSOSネットワーク 事業協定を結びました



▲調印式の様子

10月16日に雲南警察署と雲南市、奥出雲町、飯南町、雲南広域連合とで雲南地域高齢者見守りSOSネットワーク事業の協定書を交わしました。

この事業は行方不明になった認知症の方を早期に発見するため、協力会員に行方不明者の特徴を一斉メールで配信して情報提供を呼び掛ける取り組みです。

協定締結により、雲南圏域全体で24時間体制の迅速かつ円滑な対応が実施できるようになりました。広域的に連携して運用することで、認知症高齢者及びその家族が安心して暮らすことができる地域づくりが期待できます。